

# 徳島県地震

令和4(2022)年7月

## 目次

### 徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	.....	1
概況	.....	1
徳島県で震度1以上を観測した地震の表	.....	1
震度分布図	.....	1

### 地震メモ

地震発生直後に発表する地震情報	.....	2~3
-----------------	-------	-----

\* 「徳島県地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

\* 本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

\* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

\* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

\* 全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeq.html>

\* 大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。

<https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

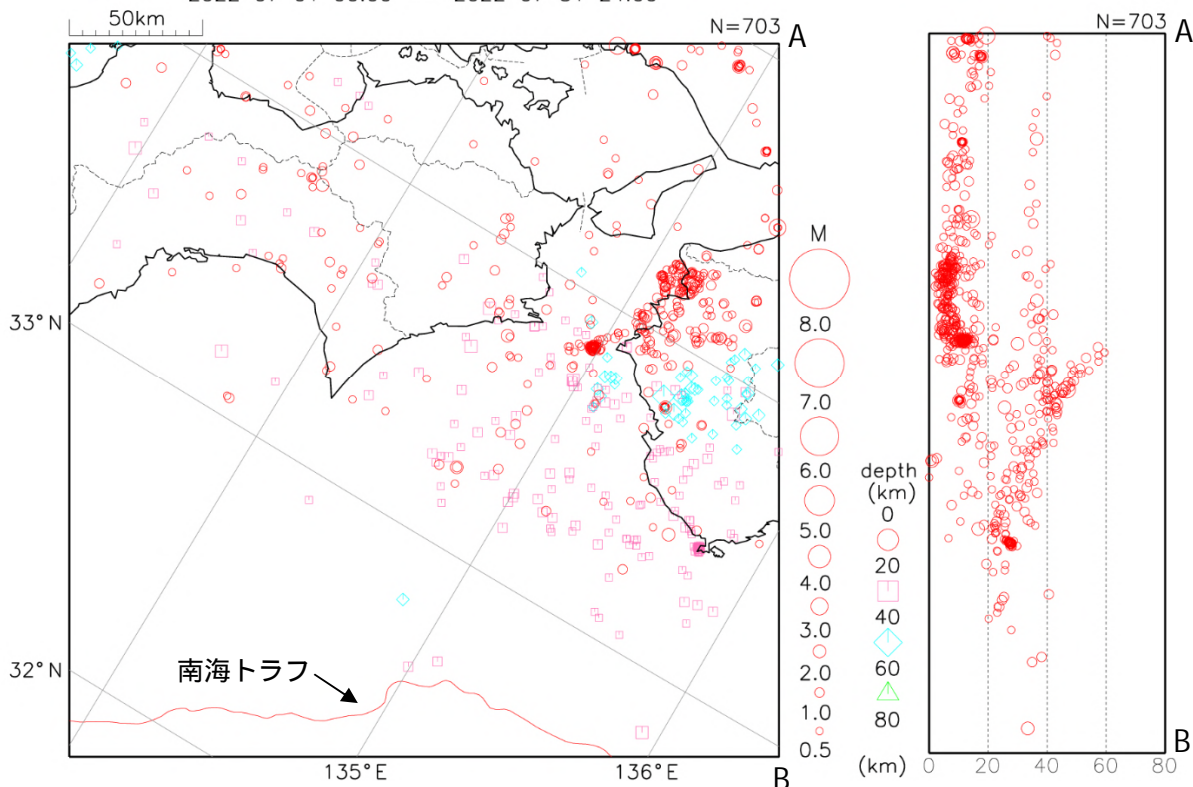
## 徳島地方気象台

(<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

# 徳島県の地震活動

## 震央分布図・断面図 2022年7月1日～2022年7月31日

2022 07 01 00:00 -- 2022 07 31 24:00



震央分布図

断面図

- ・ M0.5 以上の地震を表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさと色でマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ (depth) (震央分布図のみ) を区分。図に表示している地震の回数 (N) は震央分布図と断面図の右上に表示。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度 1 以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード (M)、最大震度 (徳島県内の最大震度とは限りません)。

## 概況

2022 年 7 月に徳島県で震度 1 以上を観測した地震は 0 回でした (前月は 3 回)。

## 徳島県で震度 1 以上を観測した地震の表

2022 年 7 月 1 日 ~ 2022 年 7 月 31 日

発震日 (年月日時分) 各地の震度 (徳島県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
震度 1 以上を観測した地震なし					

## 震度分布図 (×印は震央)

震度 1 以上を観測した地震なし

## 【地震メモ】地震発生直後に発表する地震情報

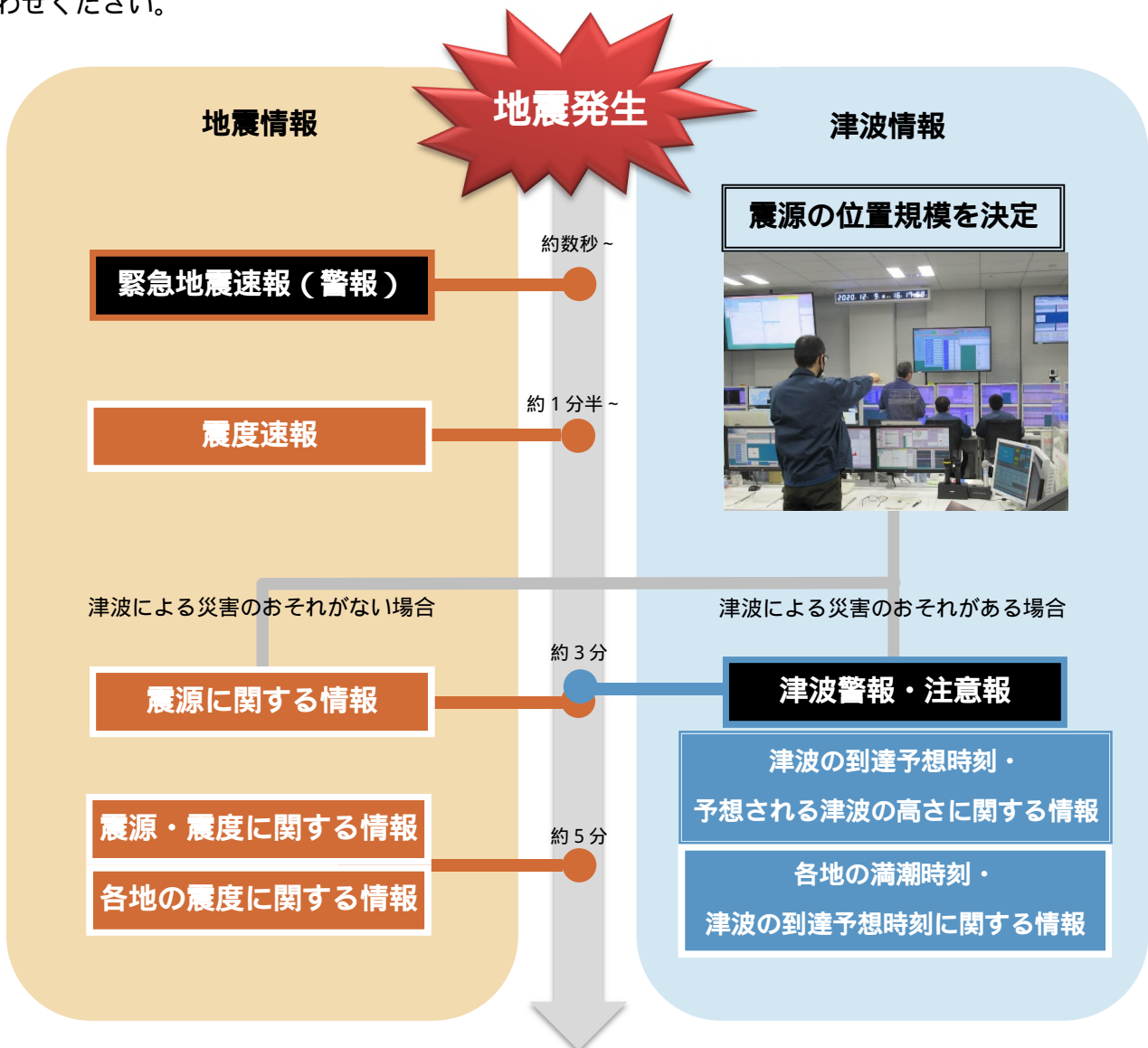
地震発生後に気象庁から発表する地震情報は、地震発生から5分間の間に多くの種類の情報が発表されます。以下に地震発生から5分間までの地震情報発表の仕組みについて解説します。

地震発生直後に震度5弱以上の揺れが予測される場合は震度4以上を予測した地域に対し直ちに「緊急地震速報(警報)」を、震度3以上の観測があれば地震発生後約1分半で「震度速報」を自動で発表します。

その後の発表は津波による災害のおそれの有無で異なります。地震の震源の位置規模を決定後、津波警報・注意報を発表しない場合、最大震度3以上の場合は「震源に関する情報」発表後、「震源・震度に関する情報」と「各地の震度に関する情報」を地震発生から5分程度で発表します。最大震度2～1の場合は「各地の震度に関する情報」のみを発表します。

津波警報・注意報を発表する場合は津波情報の発表を優先し地震情報を後回しにします。地震発生から3分程度で津波警報・注意報やその他の津波情報を発表し、正常に発表できたか確認した後で「震源・震度に関する情報」と「各地の震度に関する情報」を発表します。

テレビのテロップに流れる地震情報は基本的に「緊急地震速報(警報)」、「震源に関する情報」、「震源・震度に関する情報」です。津波の心配が無く震度2以下の場合はテレビのテロップにはほぼ表示されませんが、気象庁ホームページで確認できます。山間部などの震源が観測網から遠い場合には、地震情報の発表していない場合でも体に揺れを感じる場合があります。地震発表の無い場合で道路・工事の振動とも違う場合は地震の可能性がありますので、气象台までお問い合わせください。



気象庁の発表する主な地震情報

情報の種類	発表の基準	内容
震度速報	・震度3以上	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名（全国を188地域に区分）と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	・震度3以上 （津波警報・注意報を発表した場合は発表しない）	「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。
震源・震度に関する情報	・震度3以上 <sup>1</sup> ・津波警報・注意報発表または若干の海面変動が予想された時 ・緊急地震速報（警報）発表時	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度3以上の地域名と市町村毎の観測した震度を発表。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	・震度1以上	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。 地震が多数発生した場合には、震度3以上の地震についてのみ発表し、震度2以下の地震についてはその発生回数を「その他の情報（地震回数に関する情報）」で発表。
遠地地震に関する情報	・マグニチュード7.0以上 ・都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	国外で発生した地震について、地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表。
その他の情報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	・震度5弱以上	観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度（震度4以上）を図情報として発表。

1 気象庁ホームページでは「各地の震度に関する情報」とあわせて震度1以上で発表します。